

よい人、よい町、よい政治、議員が編集した手づくり広報紙

# こんにちは 議会です



No. 35



## 3月 定例会

平成16年度一般会計当初予算

**81億1000万円** ..... P2

こんなことも決めました ..... P3

議会を傍聴して(三股小学校6年生) ..... P4

町政を問う

10人の一般質問 ..... P6

シリーズ

「学校を訪ねて」 ..... P16

# 苦しい財源

## やりくりに 議会白熱

平成16年度

### 一般会計当初予算など23議案を審議

3月定例会は、3月4日から3月19日までの16日間の会期中で開かれました。

本定例会では、平成16年度の一般会計予算・9つの特別会計予算のほか、条例改正など計23議案が提案され、可決、承認しました。

また、意見書案3件を可決し、関係機関へ送付することになりました。

#### 可決した主な議案

○『平成16年度三股町一般会計予算』

予算の編成は、国の「三位一体改革」の推進を図る観点から、国庫補助負担金の廃止・縮減・一般財源化、地方交付税の財源保障機能の縮小等を踏まえ、歳入の確保対策、歳出の大幅な見直しなど行財政改革を本格的に実施しなければ、将来の財政運営は、大変厳しい状況が予想されます。

そこで、一般財源として活用できる臨時財政対策債と地方交付税が対前年度比8・1%（約2億6千万円）削減されるという厳しく困難な予算編成を強いられ、このような歳入不足から、当初予算額は、多世代交流センター建設事業

約5億6千万円の継続を含んでおり、対前年度比1億8千万円、2・3%増となっておりますが、前年度より人件費を8千3百万円、物件費を8千2百万円それぞれ削減するなど、実質的には歳出を大幅に見直した「歳出抑制型予算」となっており、総額81億1千万円の予算規模です。

歳出の主なものは、新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業、多世代交流センター1建設事業、清掃工場・新清掃工場負担金、リサイクルプラザ建設事業負担金、畑地帯総合整備事業負担金、中小企業育成貸付預託金、上米公園整備事業等があります。

○『議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例』

○『特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例』

内容は北諸県郡及び都市域内旅費について、その区域内旅費を、1千円であったものを当分の間、5百円にするものです。

#### 意見書

第1号

「地方交付税の大幅削減の中止を求める意見書」

第2号

「年金課税強化の撤回を求める意見書」

第3号

「地球温暖化防止のための森林吸収源対策の確実な推進を求める意見書」



身体障害者専用駐車場を新設(雨の目も安心!)

# こんなことも決めました

## 「議会等改革検討 特別委員会」を設置

### 特別委員会を設置

合併問題について、本町は、単独の方向で進んでおります。今後、地方交付税が大幅に減らされ、厳しい財政運営を余儀なくされることは、必ずであり、単独、自立の道を進むとなれば、大胆な行財政改革が必要です。

合併問題について、本町は、の定数削減を柱とする、議会の改革や、町の行財政改革について、真剣に議論、検討していくため、特別委員会を設置することとしました。

委員は、議長を除く17名で構成され、委員長に原田重治氏、副委員長に別府久光氏を

そこで、議会としても、議員選出しました。



## こんな意見もありました

### 総務文教委員会

○三股中学校の整備事業は平成18年着工を予定とあり、本案の準備費の補正である6923万円は中学校建設基金に積み立てるべきであり、本年度中に5000万円以上を積み立てることを条件とする。

○三股駅前のトイレ改修事業工事費については、通常の個人住宅に比較して余りにも高額であり、財政改革の現状からも縮小すべきとの意見があり、執行努力を期待する。

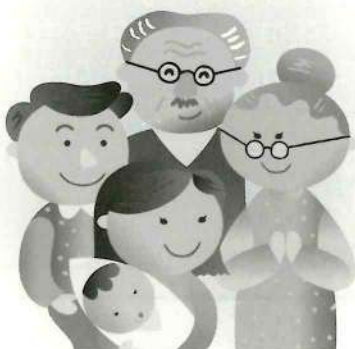
### 農林建設委員会

○都城森林組合経営資金貸付金1000万円については、平成11年度から5年間との約束であったことから、廃止、もしくは減額すべきとの意見もあつたが、他の1市4町の関係と、本町の民有林の整備等に対する必要性から承認はするが、更なる経営改善の努力とともに、経営状況について詳細な情報開示を求めるべきである。

## こんなことも出来るようになりました

### ○出産育児一時金 委任払い

今までは、退院時に本人が30万円病院に支払い、あとで国保からかえってきていました。これからは、必要な申請書を提出すると、直接、国保から病院に出産費用が支払われるシステムが出来ようになりました。ただし、国保税の完納世帯であること。



を



して



森 由加里さん

意見をスパスバ言われて、すごくはく力がありました。議会がどのように行われているのか良く分かりました。また、私達が一言もしゃべったり、物音を立てたりしてはいけない理由も良く分かりました。



中石 譲さん

町長と財部議員の話を聞かせていただきました。みんなに分かってもらうために一生けん命説得されていて「子供の会議とすごくちがうなあ。」と思いました。



6年3組 担任  
小野先生



遠矢 洋佑さん

税のこのことについて議論されていました。一つの事を話すのに「…です。…です。」という変わった話し方をされるなあと思いました。とても緊張したぶん困気でした。



竹山 佳帆さん

三股町について議員の方々はしっかりと真剣に考えておられるんだなあと思いました。見学できて良かったです。



初森 由梨香さん

すごく静かでびっくりしました。議会の様子を間近で見ることができ、いろんなことを学べました。



出水 和彦さん

とても静かで緊張しました。内容は難しくあまり分かりませんが、みなさん真剣にはく力がありました。議員の人達の真剣さや大変さなど議会の様子が分かってとても良かったです。



竹元 淳貴さん

三股町についているんな難しいことを話し合っていて、すごいなあと思いました。とても静かでしたが少し聞きづらかったです。



中原 大貴さん

みなさん真剣に話されていました。議長が一番大きくないすに座られていてかんろくがありました。思ったより人数が多かったです。



黒木 隆文さん

難しい話だったので分からないこともありますが、質問者がものすごく熱心だったのでおどろきました。



堀内 絵梨菜さん

学校、町立病院、合併問題を話し合っていた。一人が言ったことに対して、町長や教育長が答える感じで進んでいった。説得力のある話だった。



大村 美穂さん

質問する人も答える人も、はきはきと発言しているのにびっくりし、すごいなと思った。議会の中の様子がよく分かった。



上淵 美聡さん

議会の中は、みんな集中していて静かでびっくりした。みんな真剣に三股町のことを考えているんだなと思った。

3月16日、三股小学校の6年1組～3組までの児童、約100名が、社会科学習の一環として一般質問を傍聴しました。

現在は、もう中学生となっておりますが、その時の子供たちの目には議会がどう写ったのか、24名の子供たちに感想を聞いてもらいました。

# 6年1組



6年1組 担任  
袖木崎先生



有村  
匠太さん

テレビで、見たことはあったけど、議会の様子を実際に見ることは初めてでした。テレビで見た議会よりも小さかったけど、実際に見たほうが、テレビで見るよりよかったです。



大崎  
加奈さん

議会は、みんなが真剣に話し合っていてすごいと思った。少し難しい言葉を使っていて分かりづらいところもあった。静かな中で、三股のことが話し合われているなあと思った。



増田  
あいきさん

議会は思った以上にせまかったが、思った以上にしんけんに話し合っていておどろいた。でも中にはわいている人もいたけど、一日でいろいろなことがわかってよかった。議会のきんちょう感が直接分かってとてもよかったと思う。



神宮司  
弘太さん

議員さんや、町長さんや、役場の方など、いろいろな人が議会の場で話し合っていて、建物がたったり、いろいろな事ができるんだなと思いました。思ったよりもたくさんの議員さんがいてびっくりしました。



永山  
大輔さん

ぼくは、このあいだ初めて議会を見学しました。テレビで見るのとはちがって静かなぶんい気にびっくりしました。感想は、必ずあいさつをしていたということでした。とても勉強になりました。



木下  
光世さん

議会はすごく静かだった。一人一人の席にマイクがついていた。一人だけヘッドホンをしている人がいて機械が記録をしていた。議会は、テレビで見るのとはちがって文句などを言う人はいなかった。



出水  
かおりさん

真ん中に記録する人がいて、前の方に司会の方が2人くらいいてその人のまわりに意見を言う議員さんがいました。一步議会の所に入ると、とてもしずかで体がひきしまりました。部屋のすみにマイクがたくさんついていました。私達の他にも議会を見に来ている人がいました。議会を見て、こんなに多くの意見をまとめたり、聞いたりに、かいつつしたり、記録をしたりする人はすごいなあと思いました。



畑中  
裕也さん

ぼくは、議会を見学して思ったことは、議会をおこなう場所は、役場の外見からよそうもつがないくらいきれいで、議員さん達のへんじがすごくよかったです。



川添  
泰平さん

ぼく達が普通に学校に通っている時にも、議会では重要なことを話し合っているんだなと思いました。これは責任の重い仕事でしょう。

# 6年2組



6年2組 担任  
金丸先生



政野  
史聖さん

初めて議会を見に行くと、議員さんや町長さんは三股町のことをいっしょうけんめい考えてくれているんだなあと思いました。



永吉  
七菜さん

初めて議会というものを見て、顔の表情や態度からみんな真剣に議会に参加していることが分かってすごいなあと思った。



石本  
詩織さん

いろいろな質問をしたり、それに答えたりして、議会は進んでいくんだなと思った。議員さんのおかげで三股町のことが決まることが分かった。

# 議会 傍聴

# 一般質問

3月議会の一般質問は3月16日・17日に行われ10人の議員が質問しました。内容を要約してお知らせします。



財部 一男 議員

## 1市5町合併か、自立か

### 町長 自立して行く

②町の遊休地(公営住宅跡地等)の売却は考えているのか。  
③都市計画税は平成12年度に廃止されたが、自立するには、新規財源が必要になると思う。復活する考えはないか。

町長 ①今後本部を設置し、徴収対策をとっていく。

②今後十分検討しながら不要な物件等は売却していく。  
③復活は考えてないが、財源が必要となれば十分検討しながら考えていく。

### 次に歳出面について

町長 町の財政シミュレーションによると人件費は16人10%の削減となつていく。また新市町村合併特例法では、特別職の見直しがあつたわつていく。収入役は置かなくてもよいと規定されている。次の3点について。

①収入役を廃止する考えは、

②大幅な機構改革をして人件費を削減する考えは。  
③一般職員の退職補充を50%としているが当面補充なしで20%以上の削減をする考えは。

西諸地方においても2学期制導入について新聞が報じたところであります。本町において検討されたことがあるのか。また導入する考えは。

町長 ①②③については、平成16年度に設置する行財政改革推進本部の中で十分検討しながら対策を取っていきたい。

2学期制については、保護者、教育関係者の理解を得たうえで、メリット、デメリット等を十分検討しながら、1市5町で足並みをそろえる。当面は検討を続けたい。

### 教育行政について

町長 宮崎市においては、2学期制が本格導入されました。

町長 総合的に検討した結果、自立を表明した。変更する考えは無い。  
町長 自立する場合、大変な努力、決断がある。収入対策について。  
①税の滞納が年々増加している。対策として町長を本部長として全庁で取り組む考えは。



# どうする・自立へ向けての財政確立

## 町長 人件費、事務事業など 全般的な改革を図る



山領 征男議員

今こそ町長は指導力を  
発揮すべき時では

**問** 自立の中での行財政運営はきびしい、どのようにして確立する考えなのか。

**町長** 国の政策を受け、これからの本町の行財政運営も厳しいものと自覚している。私には受益と負担の関係を基本的に見直し、次年度を「行政改革元年」とし議会議員、三役、特別職、各種審議会など見直し人件費を削減したい。また一般職についても組織機構を再検討して事務の効率化と行政サービスを図る考えである。

**問** 計画では一般の職員は10年間で16人の削減であるが検討すべきだ。せめて3分の2

位まで削減すべきだ。退職者数の2分の1を採用する根拠は何か。

**総務課長** 必ずしも2分の1ということではないが国、県の指導によることもあり、年代の均衡を保つ意味がある。財政シミュレーションでは10%の職員の減としているが20%も視野にいれ、今後更に検討したい。

**問** 財政確立に向けての具体策がみえない。町長は望ましい議会議員の定数は何人と考えるか。三役制度は堅持するのか。また報酬についてはどうか。各種の委員会、課の統廃合をすべきだと思うがどうか。

**町長** 計画では議会議員は4人減の14人としているが、今後とも検討したい。三役制度についても、今後十分検討させていたきたい。課の統廃合は高度経済成長期の流れで来ているものもあるし、課によつては事業が増したところもあるので、調整して見直しをしたい。

出直し選の  
考えはないか

**問** 合併の市町村は来年度末には首長や議員の選挙が実施される。合併しなくても町民の意識改革のために出直し選を行うつもりはないか。

**町長** 現段階では考えていない。





小牧 利美議員

## 小規模特認校制度を導入する考えは

町長 先進地の事例を参考に

しながら取り組む

引き続きこの事業を進めながら、先進地の事例を参考にし取り組んでいきたいと考える。

### 中学校大規模改修

### その後の進行状況は

町長は、全面改築から大規模改修に変更されたが、その後の改築等準備委員会では何を検討されているのか。また、町長部局に中学校大規模改修に関する担当者を配置して事業を進めることが、確実に事業が進行すると思うが町長の考えを聞きたい。

### 町長

中学校改築等準備委員会は、耐震強化に関し協議し平成16年度に耐震強化工事を実施、17年より大規模改修工事に着工する。

ご指摘の改修工事に関する担当者を平成16年度より、町長部局に配置することとする。

### 町立病院は自立でも 存続するのか

町立病院は毎年4千万以上の赤字を計上しているが、自立でも存続するのか。

町長 町立病院は50年にわた

り町民の健康を守ってきた。町が自立でいっても、健全化委員会の意見を尊重しながら、健全な財政の立て直しを行い、公立病院として存続していくことと考えております。

問 人口の増加が進む本町ですが、町の西部に比較して、東部の長田小・梶山小において児童の減少が進んでおります。

今年4月から田野町が実施する小規模特認校制度があります。この制度は、児童が学区外の小規模校に保護者・児童の希望がある場合、特例として学区外への転入学を認める制度であります。本町でも長田小・梶山小を認定し、この町内留学制度を導入する考えはないか。

町長 本町の東部の過疎化については、町当局といたしましても複式解消のため補助職員を補充また宅地の造成、過疎地域定住促進奨励事業等を実施しておりますが、なかなか成果が出ておりません。引



### 小規模特認校制度とは...

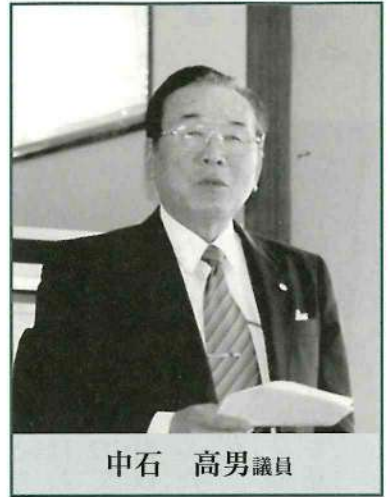
一口×モ

子どもが通う学校は通常、市町村教委が通学区域により指定しているが、保護者・児童の希望がある場合、特例として学区外への転入学を認める制度。



# 今後の改革に対する方針は

## 町長 組織機構の見直しなどを図る



中石 高男議員

**問** 今後の行政改革については行政としても目下鋭意検討中であろうと思うが、改革は納税者の立場にたつて考え、町民が役場の事務に望むものは何か、必要としたいものは何か、お互いが共通する利益は何か等、共に考えともに対話をもつて改革を始めるならば必ず一致点が見い出せると思うが、町長の今後の改革に対する方針と方策は。

**町長** 行政改革の具体策については、人件費を始め事務事業、そして公共事業の評価制度等を見直して参りたい。人件費については効率的に業務を遂行するため、組織機構の見直しを図り、課の統廃合により適正な職員の配置で人件費の節減に努めて参りたい。事務事業の見直しについては、

物件費、補助費等の各事業の内容や必要性、効果等見直していきたい。公共事業の評価制度による適正な執行については、これまでの公共事業はあれもこれも取り組んできたが、今後は第四次総合計画に基づいて実施したい。

**問** 合併問題は自立を模索されたが、今後の方策は。

**町長** 総合的に判断した結果、合併効果は期待できない。本町は県内でも人口増で推移している自然豊かな町であり、人口増で活性化を図り、公営住宅の建替や我が町の基幹産業である農畜産業のブランドの確立を図り、企業誘致の推進、それに教育、文化、福祉の町作りの推進も図っていききたい。

**問** 単独を提唱する以上は笛を吹けども踊らずでは駄目であり行政と住民が協力し「かゆい所に手の届く」行政が大原則であると思う。それから、現在合併に関する説明会が毎晩地区毎に行われているが、今までの感想はどうか。





桑畑 浩三議員

## 行財政改革の基本構想は

### 町長 総合的に行財政を見直す

**問** ただ「改革をしていく」と言うだけではなくて、「このような改革が望ましい」という方針をたて、その方針に基づいて、どこを改革するかを検討が、なされていかななくてはならない。

**町長** 十分検討していきたい。

たとえば、「改革にあたって、

町民の負担増につながらない、町づくりのためのお金をできる限り確保する。」

そのことを基本方針にする。それを実現するには、町行財政のどこをどのくらいは改革しなくてはならないということが、自ずからはつきりしてくるだろう。

町長はどういう改革をするかという改革の基本方針を、まず、はつきりさせよ。

また、改革にあたって、町立病院の問題は避けて通れない。町立病院の存続が今後とも必要なかどうか、真剣に検討する必要がある。

**問** 町は地方交付税が今後いくらまで減るとみているか。

**企画調整課長** 5%から最大

限30%まで落ち込むと見ている。

**財政課長** 30%の場合に26億円まで落ち込むことになる。

**問** 町がやろうとしている改革の姿であるが、住民説明会で使用している説明資料の財政シミュレーションによると、17年後の町財政の姿は、物件費や補助金は増え、公共事業費を集中的に減らすものとなっている。そして人件費はわずかに0.3%の減となつていく。いったい町長は行財政改革にあたって、どういった基本構想を持っているのか。

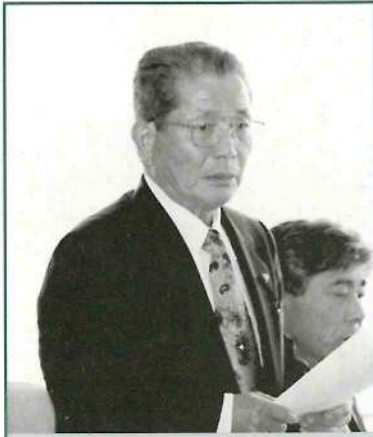
**町長** 16年度を改革元年と位置づけ、総合的に行財政を見直していく。



◀執行部による市町村合併説明会

# 自立による行財政改革の考えは

## 町長 平成16年度から改革を進める



大久保 義直 議員

**問** 町長は、施政方針の中に平成16年度を行財政改革元年と位置づけて、行財政改革に取り組み行政運営の進展に努めると言われている。  
**問** 問題は、歳入の減少による歳出面の削減をどのような方策で図られるのか。そこで、まず考えられるのは人件費の見直しによる組織機構の改革であり、三役・職員定数の見直し、また町議会議員、農業委員及び各種委員の定数削減を改革の中でどのように取り組む考えなのか。

**町長** 組織機構の改革によって、特別職並びに職員定数の削減、また議員や各種委員会の委員の見直しを行財政改革推進体制の中で十分に検討して、平成16年度から改革を進めていく考えである。  
**総務課長** 職員数は組織機構を見直し、適正な職員配置に努め削減していく。  
平成24年までに職員16名を削減し、また平成32年までの17年間に段階的に10%から20%の削減を考えている。  
**問** 負担金及び補助金交付の見直しと、補助金交付団体はいくつあるか。  
**財政課長** 負担金及び補助金の交付は町審議会で審査し、町長が決定する。平成16年度の補助団体数は百件で1億53万3千円を予定しており、昨年度より782万3千円が減額になっている。今後は3%の減額目標と抜本的な財政改革の中で補助金等交付制度も見直していく考えである。  
**問** 維持管理費も膨大な負担になっている。本町も文化ホールをはじめ図書館・体育館そして建設中の福祉会館等の箱物施設が多いが、管理費の抑制方策を考えているか。  
**財政課長** 公共施設等の維持管理費の見直しは、行財政改革推進本部の中で十分に検討して改革を進めていく。





上西 祐子議員

# 公共下水道事業の見直しを

## 町長 公共事業評価委員会で

### 検討していきたい

**問** 公共下水道事業は財政負担が大きい。第一工区だけで中止し、費用の安い合併浄化槽市町村型の整備を検討したかどうか。

**町長** 現在整備中の区域105・1haは、昨年度事業の再点検を行い、整備に問題ないという結果がでたが、平成17年度に公共事業評価委員会で検討をしていきたい。

**問** 現在の105・1haの事業費はどの位で、接続率は何%の予測か。

**都市計画課長** 計画では51億6千万円と出ている。接続率は5年後で約18・2%と考えている。

## 下水道事業の見直しを

**問** 下水道事業の全体の総事業費の予算と期間は、

**都市計画課長** 564haと未認可の夢池地区を含めて、264億で平成9年から30年間という計画です。

**問** 地方交付税が削減される中、このまま事業を続けていけば、町の財政を危機に陥れるのではないか。

**町長** 公共下水道事業は、財源を食うと県議会でも議論になった。今後すべての事業を公共事業評価委員会で検討させていたいただきたい。

## 巡回バスの運行はできないか

**問** バスが通っていない地域の方々に、役場や病院・多世代交流センター等に気軽に来れるように小型バスを運行することはできないか。

**町長** 現在福祉センターを建設中であり、これの完成後、老人の方の利用状況を十分見て検討していきたい。

**問** 重度心身障害者医療助成請求の手続き簡略化はできないか。

**町長** この制度は県の単独事業なので、県内どこでも請求手続きが簡略化されるのが望ましい。県全体でできないか要望していきたい。

**問** 三股町地域づくり推進委員会のようなものを作って町づくりの思いやアイデア等を手紙やホームページなどで

受け付けるようにしたらどうか。  
**町長** 今までも行政への提言や意見等もよせられているが、今後は町民総参加の町づくりを基本理念に、より開かれた町政を推進するために、インターネットを活用して双方向性を図りたい。

◀工事の進む公共下水道処理施設



# 市町村型合併浄化槽の採用は

## 町長 町の負担が多くなると 予想され、今後検討したい



池田 克子議員

**問** 公共下水道事業の進捗状況と予算を含めた今後の事業計画について。

**町長** 平成9年より中央処理区564haの整備事業が始まり、現在、今市地域105.1haを整備中である。平成16年度末には60ha共用開始される。

**問** 下水道料金の設定はされているのか。

**都市計画課長** 下水道審議会で検討中である。

**問** 汚泥の処理方法は。

**都市計画課長** 移動脱水車を北諸県5町で共同購入し、巡回して処理する。車両購入の本町負担は約1070万円になる。

**問** 事業実施期間が27年間におよび、予算総額も264億円と高額になる。事業の見直

しは考えられないか。

**町長** 事業が採択されて10年以上経過したものは、事業を検討するよう国土交通省の指導がある。下水道事業評価委員会でも協議することになる。

**問** 合併処理浄化槽は処理性能にすぐれ、設置コストが公共下水道より安い。短期間で設置でき、場所もとらない。もつと普及すべきと思うが、現在の推進状況について。

**町長** 平成14年度末の設置で1017基。人口割で30.9%の普及になる。

**問** 現在の合併処理浄化槽設置整備事業は個人設置型で、個人負担が大きい(自己負担6割)。国は平成15年度より市町村型(自己負担1割)を新規事業で推進した。

国庫補助が増え住民の負担は軽くなる。この事業に切り替えることが出来ないか。

**町長** 自治体の負担が多くなると予想されるが、個人設置型も管理の方法に問題があるので今後検討したい。

### 携帯用防犯ブザーを貸与せよ

**問** 全国的に小・中学生の連れ去り事件などが多発している。県内でも前年度より大幅に件数がふえている。携帯用の防犯ブザーを貸与することで未然に事件を防げるのではないか。対応について聞きたい。

**学校教育課長** PTAや先生方で通学路の点検をし、危険な場所はさけるよう指導している。しかし、ブザーの利用の仕方や、事件の事例を参考にしながら、対応を検討する。





原田 重治議員

## 三位一体の改革をどう思う

### 町長 国の動向も不明な点が多い

**問** 平成16年度の町政運営について、具体的に聞く。三位一体の改革をどう思うか。本町は、交付税、補助金にかわる金額の税はないが。

**町長** 地方分権の確立に伴い交付税の見直し、補助金の削減、基幹税の委譲のことであるが、まだ決定したものでない不明な点が多い。

**問** 文化会館、福祉会館等の必要経費をどれくらいに考えているか。図書館においては大変好評であるが、心無い人がいて、本を汚したまま、ビデオを破損した状態で返す人がいる。職員は、それに注意すらできないことである。毅然とした対応をとってもらいたい。

**町長** 文化施設特に教育については、金でかえられない面

がある。維持費は文化会館6千8百万、福祉会館概算1千5百万と考えている。図書館については、対策を検討する。

**問** 町営住宅の建替えと、家賃未納に対する対策は考えているか。また連帯保証人にも連絡をとる必要があると思うが。

**町長** 平成16年度より中原第一三団地の建替えを行う。また、小規模団地は廃止する。家賃滞納者には、4月より家賃処理要網を作って、保証人にも力になってもらう。

**問** 町立病院の将来について、毎年患者が減少しているが、再建は患者を増やすことである対策として一、良い医者を呼ぶ 二、最新の器械導入 三、病院の改築であると考えているが、しかし最終的には町長の方針によるものと思う。町民の健康維持に必要なから存続して行くなら強い指導力を

**町長** 広域事業に

発揮していただきたい。  
**町長** 町立病院を考える会の最終答申が出たので答申を参考に検討していく。

**問** 三股駅周辺の整備計画についてどう考えているか。時代と共に駅の役割も変化しており、町の中心ではない。人の集まることを考えてみては。たとえば開発公社の土地に住宅を建てて人を呼ぶ等の方策もあるが。

**町長** 常に検討はしてきたが、今年度は駅のトイレ改修を行う。また、住宅の件は検討している。

**問** 今後の広域事業について、対応を考えているか。

**町長** 広域事業に

については、自治法で協議することになっており、法に基づいて対応する。



老朽化のすすむ町営住宅

# 男女共同参画についての考えは

## 町長 今後、啓発に努める



的場 茂議員

**問** 我が国は、男女が社会の対等な構成員として、自らの意志によつて社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もつて男女が均等に、政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、ともに責任を担うべき社会と位置づけ、1999年に、男女共同参画基本法を制定した。

また、1986年に男女雇用均等法、1995年には育児・介護休業法が法律化されている。

県も昨年4月、男女共同参画推進条例を施行し、「男女が互いに人権を尊重しつつ責任をわかち合い、性別にかかわらずに個性と能力を発揮できる」地域社会の実現へ向け、さまざまな啓発を行っている。

町長の男女共同参画についての考えは。

**町長** 本町は平成13年度に「男女共同参画プラン」を策定した。このプランでは、家庭、地域、職場など、あらゆる分野において、女性と男性が支えあいながら、共に参画する社会の実現に向け取り組んでいる。また町民に浸透していないのが現状であり、あらゆる機会を通じて今後、啓発に努めて参りたい。

### 移動図書館の取り組みは

**問** 町立図書館は、町内外において大変人気を集めている。昨年の貸出率は、県内市町村で断トツであり、貸出登録者も1万5038人と驚くべき人数で、喜ばしい限りである。そこで平成13年12月議会でも望と質問した移動図書館の取り組みは。

**教育長** 業務展開等々について検討しているところであり、まだ検討を要する課題（各施設とのネットワークづくり）もいくつか残されている。今後、これらの問題の解決を図

ることも必要である。

財政面が重くのしかかってきている実情もあり、また補助事業の導入もさらに難しい現状において、それらも含めて検討して、今後取り組んでいく。



# 勝岡小学校

勝岡小は「みどりが丘」という緑いっぱい  
の丘があり、学習や遊びの場、憩いの場として児  
童はもとより地域の方々にも親しまれていま  
す。

PTA活動も活発で、家庭、地域が一体とな  
った教育が力強く推進されています。



豊かな心を、はぐくむ [みどりが丘]

豊かな心を育てる  
環境教育

●「みどりの少年団」の活  
動が活発とよくお聞きしま  
す。

「みどりの少年団」は結  
成以来、校内、校外の緑化  
活動や花一杯運動を活発に  
おこなっています。

また全校児童が種から花  
を育てる活動もしています。

種まき、苗作りと全て自  
分たちの手で世話をして、  
育てた花を福祉施設や公共  
施設などにお届けしています。

これらの活動を通して、  
命あるものを慈しむ心、自  
然や生き物を愛する心、お  
世話になってる人への感謝  
の心、人のために役立つ  
確かな行動を育んでいます。

地域の人、自然を生かし  
た積極的なふるさと学習

●ふるさと学習とはどんな  
学習なのか。教えて欲  
しいのですが。

米作り、俵踊りや奴踊り  
の伝統芸能の伝承、歩こう  
大会、力又ー教室など地域



みどりの少年団による植樹

の人や自然を生かした学習  
です。PTAや父親塾、地  
域の方々の献身的な支援を  
受け、郷土愛が育っています。

人として生きる確かな  
力の定着を目指して

人として生きる確かな力  
として、心の教育と基礎学  
力の向上に力を注いでいます。

かがやきタイム、チャレ  
ンジタイムの時間を活用して、  
朝の読書や国語や算数の基  
礎学力の向上を図っています。

学校長 黒木 香子

電話 52-11170

取材 山領 征男

## 編集後記



♪春の小川は  
さらさらいくよ  
岸のすみれや  
れんげの花に  
姿やさしく  
色美しく  
咲けよ咲けよと  
ささやきながら♪

さわやかな、そよ風が、里山に春  
をはこんできました。沖水川はきら  
めき、ハエやどんこ、鯉の稚魚たち  
が嬉しそうに泳ぎまわっています。  
上米公園の桜は、年毎に、大きな  
り、みごとな花を青空いっぱい咲  
かせてくれました。山あいに、真赤  
なジュウタンを敷きつめてくれる椎  
八重公園。そして、今や日本一とな  
った、長田の奥のしゃくなげの森も、  
めずらしい花々でいっぱいです。  
夜になると、キラキラ輝く星たち  
のおしゃべりが、何やら聞こえてき  
そうです。

これら全てが、ふるさと三股の宝  
物だと私は思います。むやみに開発  
するのではなく、宝物を活かしなが  
らの行政が望まれます。

今日も、空は晴れ渡り、うぐいす  
が唄い、西には霧島山の勇姿がそび  
え立つ。

こんなすばらしい自然豊かな三股  
を、未来の子供たちに残すために、  
私たちは、今、何をなすべきなのか…

広報編集委員

斉藤 ちづ子